

45 甘味資源作物生産支援対策

【9, 301（8, 146）百万円】
（平成27年度補正予算 1, 545百万円）

対策のポイント

甘味資源作物生産者及び国内産糖製造事業者の経営の安定並びに砂糖の安定供給を図るとともに、さとうきびの自然災害からの回復に向けた取組や甘味資源作物の安定生産を図る取組等を支援します。

<背景／課題>

- ・国内産糖と輸入糖との内外コスト格差を調整するため、甘味資源作物生産者及び国内産糖製造事業者に対して交付金を交付し、経営の安定、砂糖の安定供給の確保を図ることが必要です。
- ・また、沖縄県、鹿児島県南西諸島等の基幹作物である甘味資源作物は、近年、台風や干ばつ等により不作が続いていることから、自然災害からの回復に向けた取組や生産構造の安定化に向けた取組等に対して支援することが必要です。

政策目標

- てん菜の生産量を増加
（357万トン（平成26年度）→368万トン（平成37年度））
- さとうきびの生産量を増加
（116万トン（平成26年度）→153万トン（平成37年度））
- 国内産糖の安定的な供給
（74万トン（平成26年度）→80万トン（平成37年度））

<主な内容>

1. 甘味資源作物・国内産糖調整交付金 8, 563（8, 108）百万円

国内産糖と輸入糖との内外コスト格差を調整するため、（独）農畜産業振興機構が甘味資源作物生産者及び国内産糖製造事業者に交付する甘味資源作物交付金及び国内産糖交付金の一部に相当する金額を同機構に交付します。

（補助率：定額
事業実施主体：（独）農畜産業振興機構）

2. さとうきび及びでん粉原料用かんしょ経営安定対策推進事業

33（38）百万円

さとうきび及びでん粉原料用かんしょに係る生産者交付金の交付申請を円滑に行うため、代理申請者の申請・支払事務経費への支援を行います。

（補助率：定額
事業実施主体：生産者団体等）

3. 甘味資源作物安定生産体制確立事業〔新規〕

705（－）百万円

台風、干ばつ、病害虫発生等の自然災害からの回復に向けた取組を支援します。

（補助率：定額
助成対象者：生産者組織等）

4. 甘味資源作物産地強化緊急対策事業 (平成27年度補正予算 1, 545百万円)

(1) さとうきび産地構造改革緊急対策

地域ごとの「さとうきび増産プロジェクト」に定めた取組のうち、地力の増進など特に重要な取組を支援するとともに、生産構造の安定化を図るため、株出管理機の導入等を支援します。

(補助率：定額、リース料の6／10以内
事業実施主体：生産者組織等)

(2) いも類産地確立支援事業

ア. かんしょ産地緊急強化対策支援

かんしょについて、近年の低温・寡照の影響等による収量の低迷からの回復を図るため、適期作業による収量増加などを可能とするマルチ栽培を行う機械の導入等を支援します。

(補助率：1／2以内
事業実施主体：生産者組織等)

イ. ばれいしょの病害虫のまん延防止のための施設等整備支援

ジャガイモシロシストセンチュウのまん延防止を図るため、農業機械や収穫物の運搬車両を農作物の集荷施設において洗浄する施設の整備等を支援します。

(補助率：1／2以内
事業実施主体：生産者組織等)

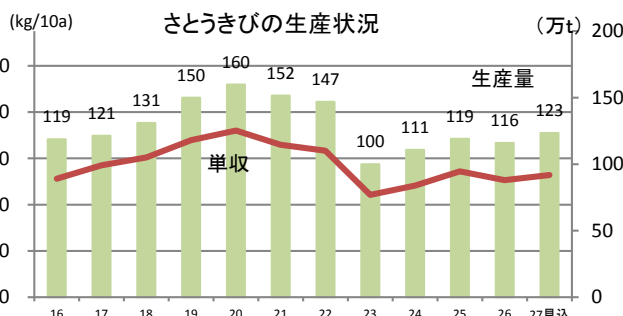
[お問い合わせ先：政策統括官付地域作物課 (03-3501-3814)]

甘味資源作物対策

【甘味資源作物安定生産体制確立事業 平成28年度予算概算決定額：705(一)百万円】
 (甘味資源作物産地強化緊急対策事業 平成27年度補正予算額：1,545百万円)

さとうきび対策

- さとうきびは沖縄県及び鹿児島県南西諸島において、地域経済を支える基幹作物であるが、近年は台風や干ばつ等により不作が続いている。
- 地域経済を活性化するためには、地域の基幹作物であるさとうきびの増産が必要であり、平成27年に改定した「さとうきび増産プロジェクト」に定めた取組のうち、地力の増進など地域において特に重要な取組を支援するとともに、自然災害からの回復に向けた取組や気象災害等の状況を受けても再生産が確保できるよう生産構造の安定化を図る取組に対して支援を行うことで、さとうきびの「増産」を確実なものとする。



島ごとの増産プロジェクトの改定

<内容>

- 島ごとの主な課題
- 増産に向けた生産目標(作型別の面積、単収、生産量等)
- 目標達成に向けた取組計画(経営基盤、生産基盤、技術対策等)

増産推進支援 (27年度補正予算)

増産プロジェクトに定めた特に重要な取組を支援。

<取組例>

- 新たな品種の導入
- たい肥等による地力の増進
- 交信かく乱フェロモンチューブの活用 等



たい肥の散布

生産構造対策 (27年度補正予算)

収量の低下に対し、再生産が確保できるよう生産構造の安定化を図る取組を支援。

<取組例>

- 適期植付、適期株出管理を行うため、収穫機と株出管理機等を一体的に導入



収穫機



株出管理機

増産基金 (28年度予算)

自然災害被害対策

自然災害	主な対策
干ばつ	・かん水
台風	・除塩(散水) ・苗の補植、改植
病虫害	・病虫害防除
その他の災害	(災害の内容に応じた対策) ・株出管理作業 ・苗の確保 等

工場対策

かんしょ産地緊急強化対策支援(27年度補正予算)

かんしょの収量を安定化・向上させるためには、植付の早期化など適期の作業の実施が重要。適期に作業を実施するため、マルチ張り機や挿苗機等の導入を支援し、収量増加を推進。



マルチ張り機



挿苗機

ばれいしょの病虫害のまん延防止のための施設整備等支援(27年度補正予算)

平成27年8月に国内で初めてジャガイモシロシストセンチュウの発生を確認。まん延を防止するため、運搬車両を農作物の集荷施設において洗浄する施設の整備等を支援。



車両洗浄機